

株式会社 日研工業所

ハイレベルな焼き付け塗装・
特殊コーティングで成長海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

清浄度クラス10万のクリーンルームで運用する塗装ロボット

主な事業内容

焼き付け塗装、特殊コーティング、
パッド・シルクスクリーン印刷

主な取引先(納入先)

モリトジャパン、河淳、三陽工業

主な製品

ボタンなど服飾パーツ、
建築金物、自動二輪パーツ業務
内容
「水と空気以外の
あらゆるものに塗装

日研工業所は、塗装を主力とする表面処理業で、関西地域を中心に顧客数は約200社に上る。カラーやデザイン、断熱機能など多様なニーズに応え、1日に最大200万個の加工をこなす。真田直彦社長は「少量からでも引き受け、水と空気以外のあらゆるものに塗装できる」と誇る。塗り薬の大宝薬品工業として創業したが、競合が激しい製薬業界よりも独自分野をめざし、昭和20年から25年にかけて塗装業に転じた。製薬で培った技術を發揮し、断熱、防塵、X線遮蔽、抗菌など差別化技術を次々と開発した。真田社長は龍谷大学卒で大手家電量販店勤務後に入社し、家業を継ぎ社長に就いた。

強み
「バイオコート」が
コロナ禍で需要増

真田社長は「ほかでは引き受けてくれない塗装、塗料メーカーでは作ることができない機能性塗料など、困っている顧客に応えたい」と意欲を示す。このような方針で培ってきたのが、多彩な機能を持たせる塗装だ。例えば、平成8年に流行した学童の集団食中毒を

きっかけに研究を重ね、抗菌剤を加えて高い効果と安全性を審査機関に認められた「バイオシリーズ」を開発。現場や住宅でも施工でき、大阪府知事から建設許可(一般)を取得した。コロナ禍でも注目が高まり、受注の増加に寄与している。医療機関並みのクリーンルームを設置するなど、設備の先進性やきれいな職場環境も抜きん出ている。

業績
拡大
東京にも営業所
100年先を見すえた経営

独自技術を發揮するのはバイオコートだけでなく、特許を取得したX線遮蔽コーティングもある。医療従事者が微量の放射線を照射するカテーテル手術などで被曝を防ぐメガネフレームなどに加工される。これまで被曝防止レンズはあったが、フレームはなく、高い機能性を付加できる。こうしたチャレンジ精神から業績も順調で、令和2年9月期は売上高が5年連続で最高を更新。営業エリアの拡大にも手を打ち始め、同年には大阪と並ぶものづくりの街・東京都大田区に営業所を開設した。真田社長は「中小企業はほとんど先が見えないが、当社は100年先を見すえ経営したい」と展望を語る。

社長あいさつ

代表取締役
真田 直彦さん

表面処理全般を請け負い、自社で焼き付け塗装、協力会社でめっき加工・蒸着めっきへ対応します。素材を問わず小ロット・短サイクルを得意とし、取引先もアパレル、自動車・二輪、建築、弱電、化粧品、玩具と様々です。多様な塗料の特徴、使用方法を熟知し無限の可能性を提案します。

主な保有設備

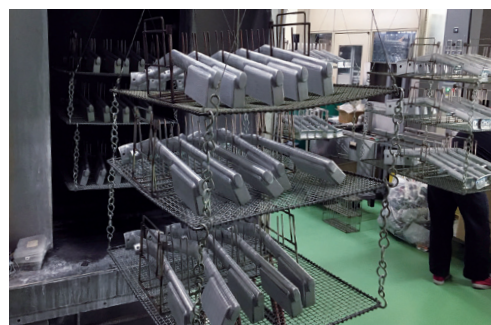
- 21世紀環境対応型無排水ポンプ式ブース 3台
- クリーンルーム(クラス10万)日本スピンドル製造製 1台
- 2ステーション塗装ロボットブリダストン製 1台
- 2ステーションスピンドル塗装ロボットタクボエンジニアリング製 1台
- 脱脂洗浄化成被膜ライン 1台



住 所 / 〒544-0006
大阪市生野区
中川東2-3-20
T E L / 06-6754-3883
F A X / 06-6752-5772
創 業 / 昭和25年4月
設 立 / 昭和55年9月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 50名



専門スタッフにより複数の塗装を同時に行う



化成被膜による防錆処理、密着の向上処理


<https://www.nikkenkogyosho.com/>